

遊び学び育つひろしまっ子!

広島県乳幼児教育支援センターでは、乳幼児期、また小学校就学に向けて大切にしたい子供の育ちや学びを伝えるため、ニュースレター「遊び学び育つひろしまっ子!」を発信しています。幼児教育や家庭教育の充実・幼保小連携・接続に向けて、大人も子供も共に学び、育ち、繋がり合う広島県を目指しましょう！

Big news!! 広島県の第2期プラン策定!

平成29年2月に策定された「『遊び学び育つひろしまっ子!』推進プラン(第1期)」から5年経過したことから、これを基本的に継承しながらも見直しを行い、新たに令和4年3月に「『遊び学び育つひろしまっ子!』推進プラン(第2期)～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～」を策定しました。

子供が育つ環境に関わらず、「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方が家庭や幼稚園・保育所・認定こども園等、さらには小学校以降で共通認識され、一人一人の子供が興味・関心に基づいてやりたいことを自由に選択できるような環境の中で、子供たちには、生涯にわたって主体的に学び続けるための基盤が培われています。

「遊び学び育つひろしまっ子!」推進プラン(第2期)より

詳細はHPから



これからも、乳幼児期のこのような育ちを大切にしながら、「遊び学び育つひろしまっ子!」の実現に向けて、取り組んでいきます。

「遊び」は「学び」を
充実させるための

～当センター主催研修の講義の中から
整理しました!～

ポイント!



- ・「子どもの声を聴くこと」
- ・「保育とは人の根っこを作る営み」
- ・「子供の行動の変化を一緒に楽しみ、共有すること」
- ・「学びの芽生え＝「楽しい!」中で学ぶこと」
- ・「無理に何かをさせる「教育」からの脱却→遊びの原理を学習活動に活かす」

広島都市学園大学 准教授 本岡美保子先生

玉川大学 教授 田澤里喜先生

広島大学大学院 准教授 清水寿代先生

福山市立大学 教授 池田明子先生

安田女子大学 客員教授 朝倉淳先生

令和4年度 乳幼児教育支援センターの主な取組

幼児教育アドバイザー 訪問事業 (費用は無料)

幼児教育アドバイザーが園・所等に寄り添いながら、先生方の保育を見つめ直し、より良く改善していこうとする意欲を支援していきます。



保育ソーシャルワーカー 派遣事業 (費用は無料)

資格を持った保育ソーシャルワーカーが園・所等と共に、家庭や医療機関との連携を一緒に考えます。福祉・健康・医療等の制度やサービスを紹介します。



研修の実施 (費用は無料)

園・所等や学校等を対象に研修を実施し、資質・能力の向上を目指します。

★今後の研修★

- ・園・所内研修を充実させるための研修会 (11/18)
- ・幼保小連携担当教員研修会 (10/24・27)
- ・乳児の育ちや学びを考える研修会 (10/25)
- ・子供の姿をとらえる!カリキュラム研修会 (2/7)



随時募集中!!

詳しくはQRコードから御確認ください。

絵本作家 朝川照雄さんにインタビュー



朝川 照雄

1953年、広島県呉市生まれ。東広島市在住。長年、保育園・幼稚園・小学校で読み語りをしている。この功績が認められ、令和3年度広島県教育賞を受賞。絵本作家としても活躍され、著書に、『ゆうくんだいすき』（岩崎書店）、『ものしりひいおばあちゃん』（絵本塾出版）等がある。

県内各地の園・所や小学校で読み聞かせをされている絵本作家 朝川照雄さんに、読み聞かせの魅力や実践方法等についてインタビューしました。

—現在、多くの園・所や小学校で子供たちに読み語りをされていますが、読み語りの魅力はなんでしょうか。



同じ本を読んでも、子供の反応が一律でないことです。

これまで44年間、読み語りをしてきましたが、読んだ時の反応は、子供によって様々です。

その背景には、子供たちが育ってきた環境や経験したことが関係しているのでしょう。想定外の反応に驚かされ、私自身、教えられることがたくさんあります。

—読み語りをすることで、子供たちにどんな効果があると思いますか。

読み語りをたくさんすることは、“言葉を育てること”“心を育てること”につながると思います。赤ちゃんは、擬音語や繰り返しを好みます。何度も何度も繰り返したくさんの言葉に触れることで、言葉を獲得していきます。コミュニケーションにもなりますね。また、本を人に読んでもらうことは、現実を忘れて、いろいろなものになりきったり、普段できない体験をしたりして、本の世界を疑似体験をすることにもなります。

幼いころから本に触れることは、その子の人格を形成していく上で、とても大切なのです。

—子供たちに読み聞かせをする際、どんな本を選んだらよいですか。

子供の興味関心や発達を踏まえて選ぶことが大切です。

例えば、0～2才頃…擬態語・擬音語が入っているもの。繰り返しがあがるもの。

3才頃…その子の日常生活とつながりがあるもの。

5才頃…自分の周り（家族・友だちなど）と関わりがあるもの。疑似体験を楽しめるもの。



—どのように読んだらよいですか。

“ゆっくり はっきり 自然体”を大切にしています。どの子でも絵本の世界を自由に想像したり体験したりできるように、会話部分を大きめにせず、日常生活にあるような抑揚で読んでいます。

絵本の読み聞かせをするときには、読み手が子供と一緒に本を楽しむことがとても大切なんです。みなさんも、1日のどこかで、子供たちとゆったり本を楽しむ時間を設けてみませんか？

幼保小連携・接続の充実に向けて今年度新たに始めました！

「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」

（「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業）

- ・7市町（竹原市、東広島市、廿日市市、海田町、安芸太田町、三次市、庄原市）を指定。
- ・市町・市町教育委員会が連携し、連携協議会や研修会、相互参観などの体制を整備。

小学校初任者研修

「園・所における就業体験」（6月～9月実施）

- ・原則校区内の園・所に、1日就業体験をする。
- ・「遊びは学び」という乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方を理解するとともに、子供の見取りや保育者の支援を自身の教育活動の充実に生かす。

御協力くださいました園・所の皆様、本当にありがとうございました。

今年度も幼保小連携・接続の充実に向けて、県内でさまざまな取組が行われています。

各園・所等及び小学校で子供の姿を中心に交流し、相互理解を深めましょう。

プラン改訂に伴い、広島県教育資料を改訂しました。具体的な実践を載せています。詳しくはこちらから↓（広島県 HP）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/shiryoku3.html>

【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター

〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局（東館5階）

TEL 082 (513) 4978 FAX 082 (212) 3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

